

区ビジョン基本方針 西蒲区

◆ 区の将来像

豊かな自然環境や観光資源に恵まれた、人と人が温かくふれあうまち

◆ 区の担う役割

- 最も広大な農地を有する区として、安心・安全でおいしい食材を生産する総合食料基地である本市の一翼を担います。
- 豊かな自然環境や観光資源を活かし、観光・レクリエーション機能のほか、都市と農村の交流拠点としての機能を担います。

◆ 目指す区のすがた

《多様な農水産物を供給するまち》

- 地域の特性である広大な優良農地の効率性や収益性を高め、併せて、日本海に面する区として、高品質で多様な農水産物を供給するとともに、市民農園や体験農園、観光漁業などを通じ、生産者と消費者が交流する農業のまちを目指します。

《観光とレクリエーションのまち》

- 越後七浦海岸、角田山、多宝山、弥彦山スカイラインや岩室温泉など、豊かな自然環境や観光資源を保全・活用し、本市における観光・レクリエーションの拠点、そして、交流の拠点となるまちを目指します。

《人が行き交う活力あるまち》

- 交通の利便性が高い居住地域として、豊かな自然環境と調和した安全で安心して快適に暮らせる居住環境づくりを進め、定住人口の増加に努めるとともに、高速交通アクセスに恵まれた立地条件を活かし、企業誘致を図り、産業振興を推進することで、新たな雇用の場を創出し、活力のあるまちを目指します。

《人と人が温かくふれあうまち》

- 恵まれた自然環境の中で、より健やかで安らかに暮らすことができるよう、地域の中に福祉の心をもつ人材を育てるなど、温かな心のふれあうまちを目指します。

◆ まちづくりに向けた施策の方向

(1) 魅力ある農業の振興

① 都市と農村の互恵

農業体験型の大規模公園を整備することにより、都市と農村の交流の場や機会を提供し、生産者と消費者が共にはぐくむ魅力ある農業を推進します。

② 環境にやさしい農業の推進

農業系副産物（稲わらや家畜の糞など）などの循環利用施設を整備し、優良農地を活かした環境にやさしい安心・安全な農産物づくりを推進するとともに、付加価値を付けるための取組に対し、積極的な支援の展開を図ります。

③ 農業生産基盤の整備

ほ場整備や農道整備などにより、高生産性農業基盤を整備し、併せて担い手の育成・確保を図り、米政策改革など農業・農村をめぐる新たな動きに対応できる経営体や営農体制づくりを推進します。

(2) 地場産業の振興

① 活力ある地場産業の推進

工業団地及び流通団地などの整備を進め、雇用の場を拡大し、活力ある地場産業の振興・発展を図ります。また、森林の保全育成を進め、地場産木材の需要拡大を図ります。

(3) 観光拠点づくり

① 観光資源の魅力発信

既存観光資源とあわせて新たな観光複合施設を整備することにより、食を含めた観光資源のプロモーションを推進し、地域の魅力を国内外に広くアピールします。

② 文化資源の保護と活用

重要な文化財の保護と活用を図るための歴史・文化施設を整備し、地域で培ってきた伝統文化の継承や振興に取り組みます。

(4) 交通の利便性の向上

① 巻潟東インター周辺整備

本市の西の玄関口として北陸自動車道巻潟東インターチェンジ周辺の整備を進め、パークアンドライドを推進することにより、高速バス利用者の利便性・快適性の維持・向上や環境負荷の軽減を図ります。

② よりよい道路の整備

本市の地域間交流を支える幹線道路の整備を進め、利便性の向上を図ります。

③ 地域内交通手段の整備

高齢者や学生などの交通弱者対策として、北陸自動車道巻湯東インターチェンジ、駅などの基点や生活に必要な場所までの地域内交通手段の整備を進めます。

④ 駅周辺の整備

越後曾根駅、巻駅や岩室駅周辺整備を進め、交通環境の向上を図ります。また、JR 越後線の増便を要望するなど利便性の向上を図ります。

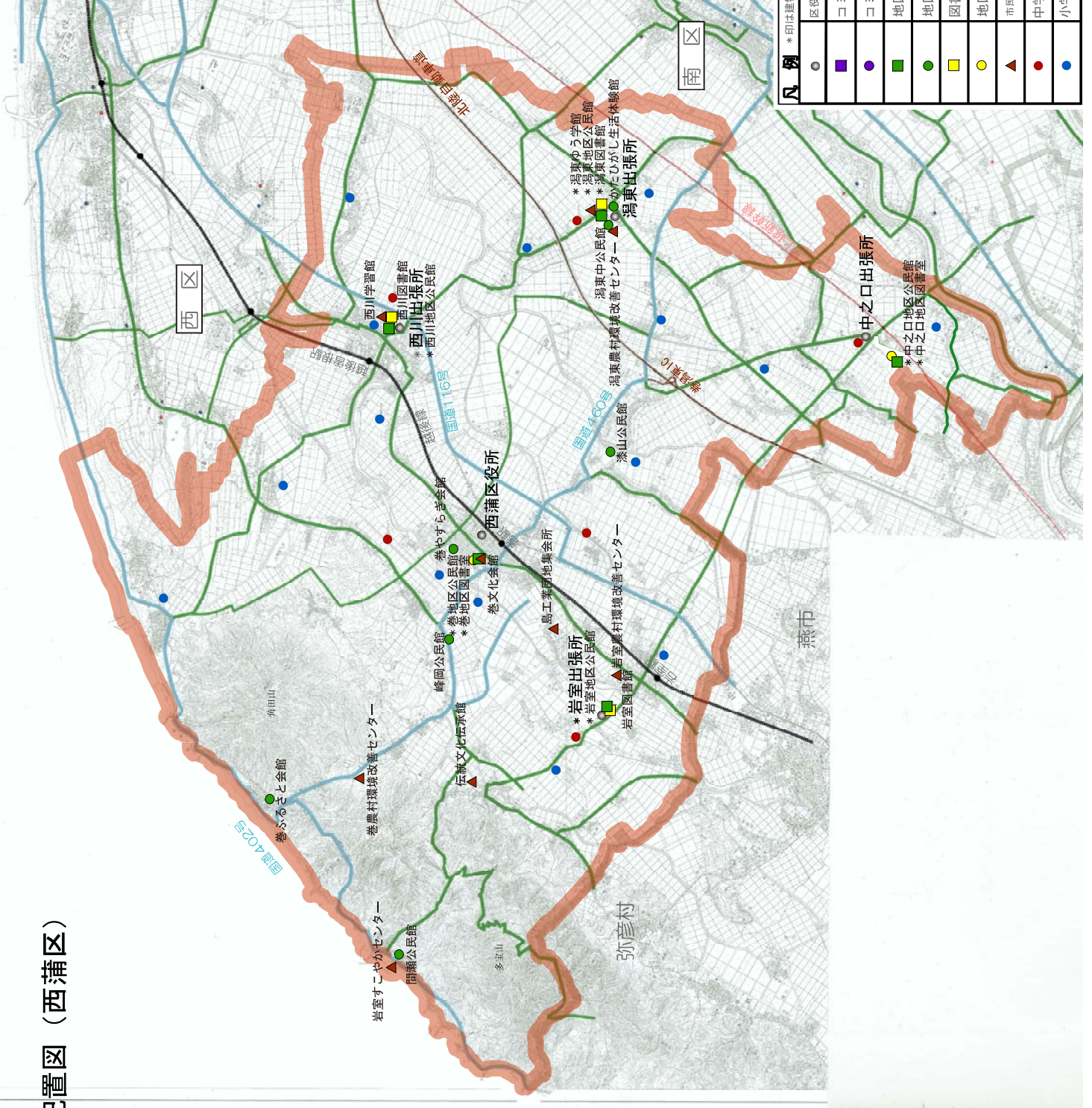
(5) スポーツが楽しめる環境づくり

① スポーツ・レクリエーション施設整備

総合体育館の建設や間瀬海岸埋立地の利用の検討など、市民が生涯を通して健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、環境づくりに努めます。

城山運動公園において、第64回国民体育大会ホッケー会場の整備を行うとともに、屋内施設などの整備を進めます。

公共施設配置図 (西蒲区)



凡例 *印は建物を共有している施設

●	区役所・出張所・連絡所
■	コミュニティセンター
●	コミュニティハウス
■	地区公民館
●	地区公民館(分館)
■	図書館
●	地区図書室
▲	市民会館・コミュニティ施設等
●	中学校
●	小学校